

共同執筆

「私立短期大学英語・英文系学科における 教職課程の現状とその分析」

桜美林短期大学紀要第33輯（1997）

大石 靖子（桜美林短期大学）

鈴木 純子（和洋女子短期大学）

小高 晋二

本研究は、大学「冬の時代」といわれる中でも、特に厳しい状況にある私立短期大学の英語・英文系学科に絞って、これまた厳しい状況に置かれている教育課程の現状を調査し、それを分析したものである。

調査は、日本私立短期大学協会加盟の英語・英文系学科を有する短期大学（184校）の中で、教職課程（中学校教諭2種免許「英語」）を開設しているすべての短期大学を対象に、その学科長と教科教育法担当者にアンケートを配付し、回答を求める方法をとった。回答率は平均60%を越えていた。

設問数は、学科長宛が教職課程に関するものを中心に13項目、また教科教育法担当者宛は担当者としての意見を求めるものを中心に5項目であった。

アンケートからはいろいろな意見が見られたが、その一つを挙げれば、「資格」としての魅力はあるし、また現実に履修者はいるが、なかなか採用されないという悩みなどが伺われた。

分担執筆

「特別活動の変遷」

（『特別活動の研究』第2章 明星大学出版部 1997年5月）

小高 晋二

本書は、主として、教職課程履修者を対象に、特別活動について理解を深めてもらうことを主眼とするもので、分担部分は、明治以降の歴史の変遷を述べたものである。周知のように、教育課程はほぼ10年置きに改訂されるわけであるが、その度に、特別活動といわれる部分の扱いや内容は変更されることが多く、まさに時代を反映しているわけで、本章はその変遷の概略を記述したものである。